

平成24年(ワ)第3671号外 大飯原子力発電所差止等請求事件  
原告 竹本 修三 外  
被告 国 外1名

## 証 拠 説 明 書

(第93準備書面関係)

2022年(令和4年)5月26日

京都地方裁判所 第6民事部合議ろA係 御中

原告ら訴訟代理人  
弁 護 士 出 口 治 男  
同 渡 辺 輝 人  
外

原告らは、下記のとおり証拠説明をします。

記

甲号証	証拠の標目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者	立証趣旨
611	意見書 「大飯原発敷地の地盤振動特性—PS 検層結果及び地質柱状図による微細構造の影響について—」 写し	2022年5月21日	赤松純平	「寸法効果」の効果を定量的に明らかにしたもの 「寸法効果」を考慮しても被告関電モデルが増幅率、地震動を過小評価していること